

# 危険なメールによる被害が増えています

インターネット機器をウイルス感染させたり、個人情報をだましとったりすることを目的とした危険なメールによる被害が相次いでいます。従来の迷惑メールと比べて、その手口は巧妙化しており、被害にあわないようにするためには、対処法を知っておく必要があります。

## 実際にどのようなメールが送られてくるのか

危険なメールにはどのようなものがあるのか、以下に例を紹介します。

差出人：「〇〇〇〇」 <xxxx@〇〇〇〇.com>

件名：<緊急！〇〇〇〇 重要なお知らせ>



「〇〇〇〇」の部分は、  
実在する企業の名前に  
似せて使われています

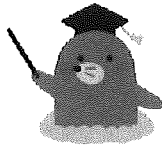
こんにちは

アカウントで異常な動作が検出されたため、お客様の資産への損害を防ぐためにアカウントをロックします。ご不便をおかけして申し訳ございません。

できるだけ早くアカウントを復元するために、下のリンクをクリックしてください。または、このリンクをブラウザにコピーしてください。公式サイトに入り、画面の指示に従ってください。

<https://xxxx/〇〇〇〇>

〇〇〇〇 敬具



このリンクをクリックすると、本物そっくりの偽サイトが開かれ、個人情報を入力するよう誘導されます。

他にも、実在する業者の名前を使って、身に覚えのない商品の発送メールを送ったり、流出した情報を使い、受信者の知り合いになりすましてメールを送ったりして、添付ファイルを開かせウイルス感染させようとするものなどがあります。



## 被害にあわないようにするために、このような点に注意してください

- 不審なメール、及びメールに添付されたファイルは開かず、削除する。
- 不安をあおるような文面のメールが来ててもあわてずに、まずはそのサービスやサイトを利用した覚えがあるか冷静に考え、覚えがない場合はメールを削除する。利用した覚えがあっても、添付ファイルやURLリンクを開くのではなく、送信元のアドレスやメールの文面の一部をインターネットで検索して被害報告がないか確認したり、公式サイトに問い合わせたりして、本物かどうかを確認する。
- 知り合いからのメールでも、内容が不審な場合は、添付ファイルやURLリンクを開かず、本人に直接確認する。

インターネット機器にフィルタリングソフトやウイルス対策ソフトを導入した上で、不審なメールが送られてきたときの対処法を、子どもたちに指導しておくことが大切です。

# パスワードは重要な情報です

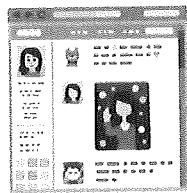
パスワードは、インターネット上のサービスを利用する上で、本人であることを証明する重要な情報です。その重要性を理解し、正しく取り扱っていないと、他人にパスワードを知られて、アカウントを乗っ取られてしまうことがあります。

## なぜパスワードを他人に知られてしまうのか

子どもたちが他人にパスワードを知られてしまうケースには、以下のふたつがあります。

### 他人から推測されてしまう

覚えやすいようにと、短くて簡単なパスワードを設定していると、他人から推測されてしまうことがあります。



あ、誕生日でログインできた

### 自分で他人に教えてしまう

例えば、オンラインゲームなどのサービスで知り合った人から「ポイントやアイテムをわけてあげるから」などと言われて信用し、パスワードを教えてしまうケースがあります。

アイテムわけてあげるから、パスワード教えて



### 他人から推測されやすいパスワードの例

- ・名前やあだ名、生年月日など、個人に関するもの
- ・連番や連続の英数字 (9999、abcde など)
- ・簡単な英単語 (password、picture など)
- ・6文字以下の短いもの

パスワードを他人に知られてしまうと、アカウントを乗っ取られて、サービス上のポイントなどを盗まれたり、自分になりすまされて、いたずら目的で不適切な投稿をされたり、詐欺目的で家族や友達ちにメッセージを送られたりすることがあります。



## 他人から推測されにくいパスワードを作成するための3つのルール

- ・個人に関する情報は入れない
- ・8文字以上の長さにする
- ・大小の英字と数字、記号を組み合わせる

※複数のサービスで同じパスワードを使っている場合、どれかひとつのサービスでアカウントを乗っ取られると、他のサービスでも乗っ取られる可能性があるため、パスワードはサービスごとに違うものを設定する必要があります。

### (例) 複数のパスワードを作るときは

- 1.左の3つのルールを守って、ひとつパスワードを作ります。(8Ua>13wH)
- 2.各サービス名の1番最初の文字を抜き出します。(「Music site」→「M」)
- 3.2の文字を、1で作ったものに入れ込みます。(M8Ua>13wH)

パスワードの重要性を子どもたちに理解させ、絶対に他人にパスワードは教えないこと、他人から推測されにくいパスワードを設定することを心がけるよう、指導していくことが必要です。

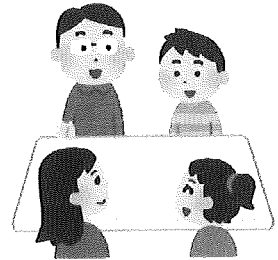
# 各ご家庭でインターネット利用に関するルールを作ってください

この時期になると、進学を機に子どもたちにスマートフォンを買い与えるというご家庭も多いかと思いますが。また、自由に使える時間の多い春休みは、子どもたちのインターネットの利用時間がつい長引きがちになります。そこで今回は、各ご家庭でのインターネット利用に関するルール作りのポイントについてお話ししたいと思います。

## ルール作りの際に重要な3つのポイント

### ①保護者と子どもで話し合って決めること

子どもがしっかりルールを守るには、そのルールがなぜ必要なのかを、子ども自身が理解していないといけません。そのため、保護者が一方的にルールを決めるのではなく、子どもと話し合ってルールを決めていくことが大切です。



### ②具体的なルールにすること

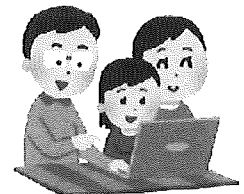
例えば、「夜遅くまでインターネット機器は使わない」というようなルールだと、その日の子どもの気分次第で何時まで使うかわかってきてしまいます。そういうあいまいなルールではなく、「インターネット機器の利用は、夜の10時まで」というような具体的なルールを作るようにしてください。

### ③定期的に話し合って見直すこと

インターネット機器を使っていくうちに、子どもたちはいろいろな使い方を覚えていきますし、新しく興味を持つサービスも出てきて、現行のルールに不満を感じるようになることがあります。そこで、半年に1度など時期を決めて子どもと話し合い、そのときの子どもに適したルールに変更してください。

## インターネット利用に関するルールの例

- ・インターネット機器の利用は、夜の10時までとする
- ・インターネットに自分や友だちの個人情報を載せない
- ・インターネットに他人の悪口を書かない
- ・食事中や、誰かと会話しているときは、インターネット機器を使わない
- ・寝る部屋にインターネット機器は持ち込まない（夜間は居間で充電しておく）
- ・インターネット上のサービスで知り合った人とは絶対に会わない、自分の個人情報を教えない
- ・インターネットを使っていてトラブルになりそうなときは、すぐに保護者に相談する

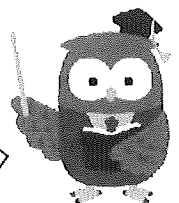


子どもと話し合ってルールを作るには、保護者の方も情報モラルやフィルタリング等についての基礎知識を持っておく必要があります。自信がないという方は、熊本県が作成した右の資料等を参考にしてください。



### スマホに弱い大人の教科書

(発行) 熊本県警察  
(協力) 熊本県  
熊本県教育委員会  
熊本市教育委員会



家族で話し合って子どもに適したルールを作り、子どもが安心安全にインターネットを利用するための手助けをしてあげてください。